

IEEE-IAS 52ND annual meeting 2017 の参加報告書

大阪府立大学大学院 工学研究科機械系専攻 環境保全研究グループ
博士前期課程 2年 保利啓太

私は、2017年度静電気学会 HRSB 賞の助成により、平成 29年 10月 1日から 10月 5日までの間、アメリカのオハイオ州シンシナティで開催された IEEE INDUSTRY APPLICATIONS SOCIETY 52ND annual meeting 2017に参加しました。この学会では、エネルギーシステム、電力システムエンジニアリング、産業オートメーション、制御、静電気処理など様々な研究発表が行われていました。私は静電気応用に関するセッションでオーラルプレゼンテーションを行いました。"Improvement in molecular-level adhesive strength of PTFE film treated by atmospheric plasma combined processing"という題目の講演で、発表内容は、接着性の低い PTFE フィルムに対し大気圧プラズマ複合処理を行うことで、PTFE フィルムの接着強度向上を図った実験結果をまとめたものです。

発表の場においては、今までの自分の研究をまとめ、振り返る良い機会となりました。人前で説明するためには、私の研究内容を知らない人にも伝わる表現や構成などを考え、研究結果をあらためて丁寧に考察することができました。質疑応答では、新たな視点からの質問を受け、研究をさらに深める考えが得られました。当たり前だと思い込んでいたことに対し、疑問を持って考えられることができました。

発表を聴講することで、大学の研究室だけでは学ぶことができない実践的なことを学ぶことができました。現在扱っているプラズマに関する研究だけでも、様々なテーマが取り扱われており、今まで関わらなかった幅広い分野を勉強できました。技術をどのように応用するのかなど、これからの研究の重要性に気づくことができました。

また、韓国機械技術研究院の H.J.Kim 先生をはじめとする、他大学の先生方や学生と意見交流する機会がありました。そこでも多くの気づきと学びを獲得することができました。研究に対する考え方や研究への姿勢、アドバイスなどから、自分の勉強不足や研究姿勢が未熟であることを自覚しました。普段の研究だけでは出会えない人たちとの交流により、今の自分自身や研究を客観的に見ることができました。今まで知らなかった知識を学び、研究とは何なのかを考える良いきっかけになったと思います。

海外で研究発表をする機会はなかなか無く、現在進めている研究を違う視点から考えることができました。今回の国際学会に参加したことで、これからの研究生活に大きな進展があると思います。得られた知識や経験を活かし、大学での研究に対し邁進します。学会参加への助成を受けられるこのような賞が今後も継続されることをお願いいたします。

最後に、このような貴重な機会に対する補助を提供していただき、心より感謝しております。ありがとうございました。